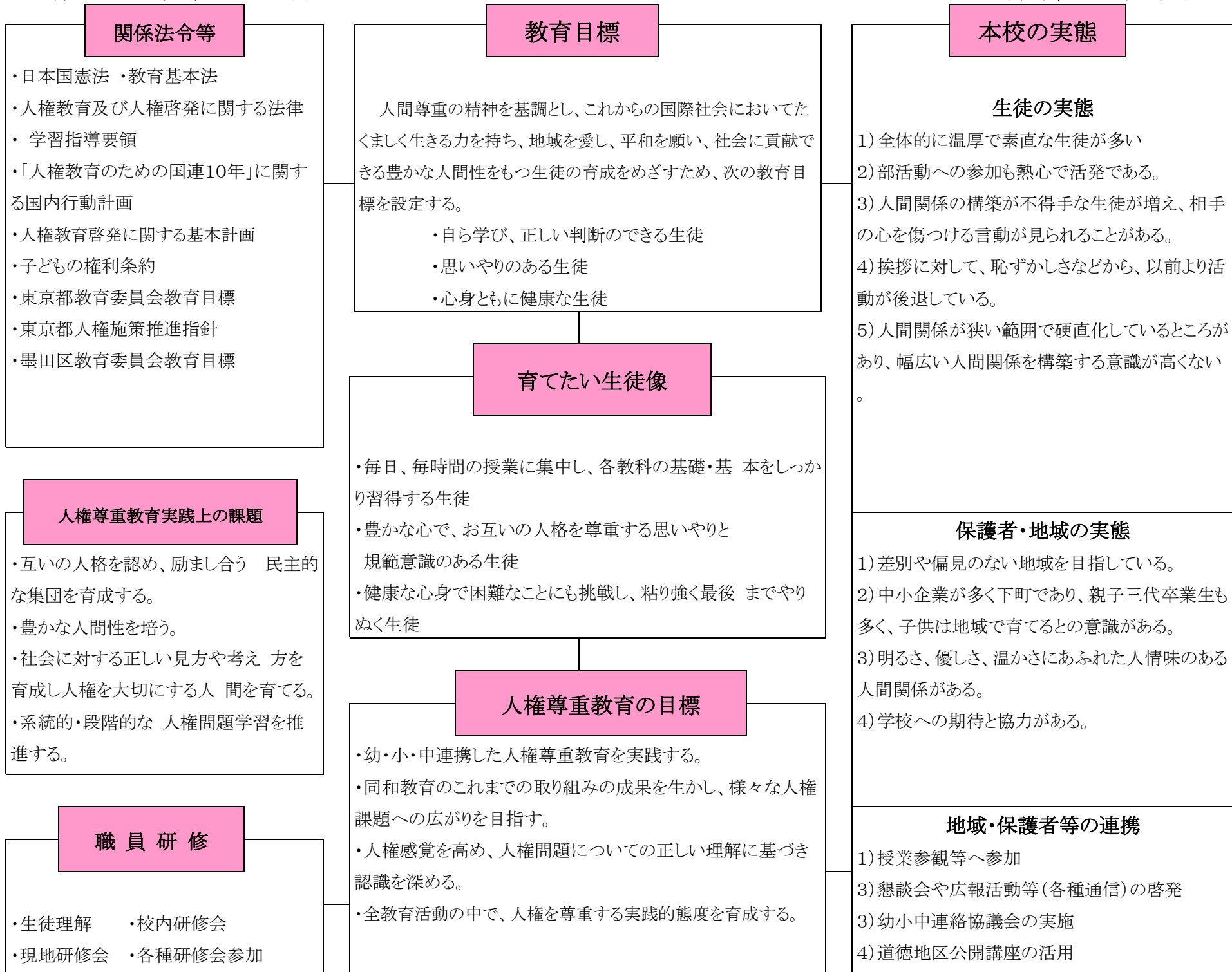


《人権尊重教育の全体計画》

墨田区立吾嬬第二中学校



普遍的な視点からのアプローチ

- ・自尊感情や他者の思い、願いを敏感にとらえる感性を培い、豊かな感性や人権感覚を育む。
- ・人と人のかかわりを通して、互いに認め励まし合う人間関係や人権についての技能を育み、自己を見つめ高める。
- ・道徳の授業や体験的な活動を通して、自分の価値観や世界観を豊かにし、互いを認め合い共に生きる社会を目指す資質を養う。
- ・人権標語・人権作文・二人権宣言の作成などの人権学習を通して、人権感覚を高め、人権に関する理解を深める。
- ・人権獲得の歴史と人々の生きざまに学び、人々のたくましさや人間の尊厳についての認識を深める。

個別的な視点からのアプローチ

- ・様々な差別の不合理性についての認識を深め、差別を見抜く感性を養う。
- ・差別の問題を他人ごととせず、日常生活の中にあるさまざまな人権に関する課題に気づき、主体的に関わる実践的態度を培う。
- ・皮革に関わる学習を中心に、教科学習での成果を踏まえ、同和問題への理解を深め、その解決に主体的に関わる態度を身につける。
- ・車いす、アイマスク、点字作成体験等を通して、障がいがある人への人権課題を見つけ、その解決に主体的に関わる態度を身につける。
- ・民族学校との交流や外国籍の生徒との関わりを通して外国人に関する人権課題を見つけその解決に主体的に関わる態度を身につける。

人権尊重教育学年目標		
第1学年	第2学年	第3学年
・小学校での人権尊重教育の成果を踏まえて、自他を尊重し、物事を正しく判断する事ができ、身近にある偏見や差別を見抜き、それを許さない心情を育てる。	・社会に対する正しい見方や考え方を育成し職業・人権侵害、差別等に対する公正な認識や判断力を育てる。	・現代社会の矛盾や偏見の本質を明らかにでき、様々な人権侵害や差別の解消を図るために、身近なところから主体的に行動できる実践力を育てる。

教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
・各教科の特性を生かし、人権に関わる指導目標を設定し、人権感覚を磨く授業展開に配慮する。 ・基礎、基本の向上と個に応じたやりやす工夫された授業を展開する。 ・進路選択を見通し、自ら学ぶとする力を育成し、生徒の実態に応じ応用力の育成を図る。	・強い意志を持ち、善悪の判断を中心とした指導により規範意識を育成する。 ・豊かな情操を持ち、自他の生命を認め合う優しい心のある生徒を育成する。 ・自己を見つめ、希望と勇気を持ってねばり強くやり抜く生徒を育成する。 ・自分自身や集団の向上のため自主的、自立的に行動する生徒を育成する。	・学級、学年、生徒会を中心に自主的、自治的活動ができるよう配慮し、創意工夫のある取り組みを行う。 ・クラブ活動・諸活動を通して人間形成を図り、よりよい集団の在り方を身につける。	・魅力ある行事の創造の中で、自分とは何か、自分と地域とのつながりについて考え積極的に実践できる力を育成する。 ・生きる力を養うための基礎的基本的な学ぶ力と課題解決能力を養う。 ・他人の生き方に学び、自らを高める力を育成する。 ・自分の生活を見つめ、よりよい自分の姿を追求する能力を育む。